

NTTドコモ北陸支社と通信設備への電力供給に関する訓練を実施

総務省北陸総合通信局（局長：蒲生 孝）は令和4年3月8日（火）、NTTドコモ北陸支社と同支社の新保本車庫（金沢市）で電力供給訓練を実施しました。訓練では、当局保有の小型移動電源車を貸し出し、被災地に設置する可搬型衛星基地局への電力供給を確認しました。

NTTドコモ北陸支社をはじめ、NTT西日本やNTTコミュニケーションズ、NTTファシリティーズなど、NTTグループで大小様々な移動電源車を保有していますが、大規模災害時に電力供給のツールが不足した場合を想定した「北陸3県で初めての共同訓練」となります。

会場には、スマートフォンやタブレット端末、携帯電話を同時に10台充電できるマルチチャージャーやWi-Fiルーターなども設置されました。充電もWi-Fiもキャリアを問わず誰でも使えるため、いずれも被災地で活躍する機器群です。

同支社ネットワーク部災害対策担当課長の林 清人氏は「北陸総合通信局は国や自治体への貸し出しが優先と思うが、災害時は何が起こるかわからない。当社設備の電源が足りなくなり、優先順位の中で空きがあれば協力をお願いしたい」と述べました。

共同訓練では、「実際に基地局に電力を供給する手順が確認できる」などの成果がありました。

当局は、指定地方行政機関（災害対策基本法第2条第4号）として各県対策本部にリエゾン（連絡要員）を派遣し、被災地の要望を積極的に把握するとともに、被災した地方公共団体等に災害対策用通信機器等の貸出を行っています。

お問い合わせ先： 防災対策推進室 TEL 076-233-4479



各種通信機器へ電力を供給した当局の小型移動電源車（右）



共同訓練のようす



Wi-Fiルーター（左）と、
10台同時に充電可能なマルチチャージャー